

## 事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109115h0003  
研究開発課題名 : 抗 Neurofascin155 抗体関連中枢・末梢神経障害症候群(CCPD/CIDP)の診療ガイドライン作成のための定量的抗体測定法の開発と基盤エビデンスの構築  
研究代表機関名 : 国立大学法人九州大学大学院  
研究開発代表者名 : 吉良潤一

評価委員会のコメント :

### ○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

本疾患の暫定診断基準を作成し、抗体測定系として ELISA 法を確立した。

ELISA 用のエピトープの絞り込みが進んでいるのは評価できる。

現在不明な点も多い抗 NF155 抗体陽性ニューロパチーの病態や治療に関する新たな知見が得られる研究である。

ELISA での検出に成功している。参考となるデータは得られ診断基準案は作成されている。今後検証の後に診療ガイドライン改定が見込まれる。

### ○疑問点、改善すべき点、その他助言等

報告書からは、構築したエビデンスの統合や成果が見えづらい。

動物モデルの作成が遅れており、発症機序とモデル系での治療法開発が計画通りには進捗できなかった。

研究期間内に ELISA のキット化が達成できず、マススクリーニングが実際に行われなかった。何が足りなかったのかを振り返り、今後活かしてゆくことが必要だと思われる。

研究の達成率が 60~70%程度とやや低いものが多い印象である。

汎用性のある ELISA の開発に至っていない。動物モデルの作成には至っていない。レジストリ、バイオデポジトリともに症例登録は目標の 1/4 しか達成していない。

以上